

平成28年8月17日からの台風第7号における 河川整備等の効果について 【速報版】

国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部
平成28年8月19日

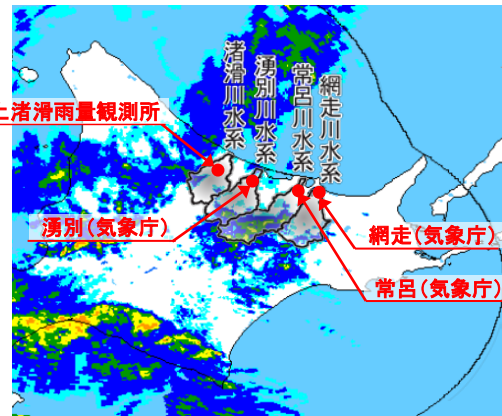
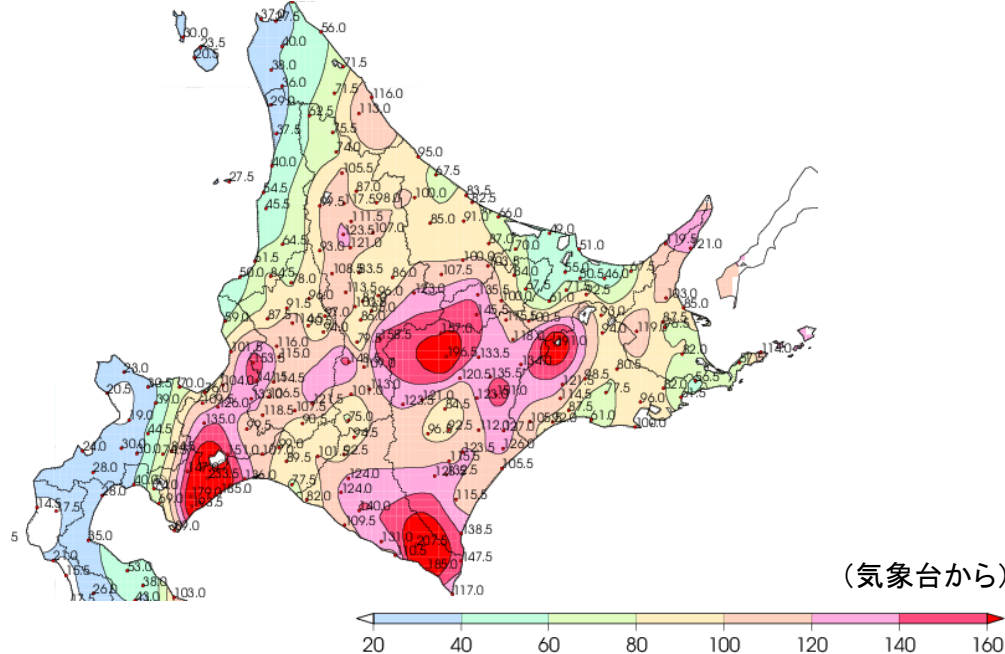
降雨の概要

平成28年8月19日現在(速報値)

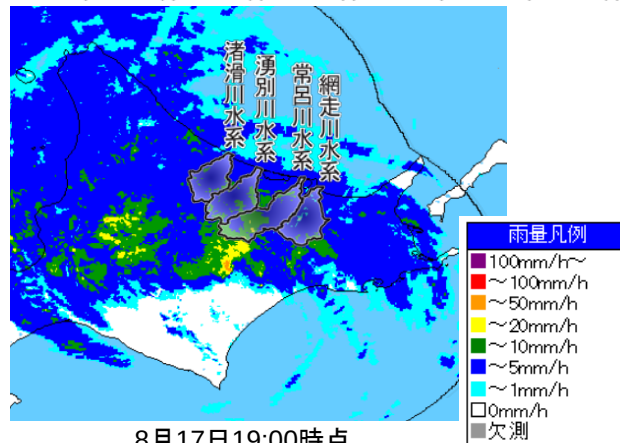
■網走川・常呂川・湧別川・渚滑川流域では、8月17日からの台風第7号に伴う降雨により、暴風雨に見舞われました。

降雨の概況

平成28年8月16日1時から17日24時までの降水量合計



8月17日15:00時点



8月17日19:00時点

(国土交通省統一河川情報 雨量レーダーより)

主な雨量観測所の記録概要

■網走川

あいおい
相生(開発局)【津別町】

- ・累計雨量:107mm(8月16日 6:00~8月17日 22:00)
- ・最多1時間雨量:20mm(8月17日 19:00)

■常呂川

おけとつねもと
置戸常元(気象庁)【置戸町】

- ・累計雨量:146mm(8月16日 1:00~8月17日 21:00)
- ・最多1時間雨量:30mm(8月17日 19:00)

■湧別川

しゅうべつ
支湧別(開発局)【遠軽町】

- ・累計雨量:149mm(8月16日 2:00~8月17日 22:00)
- ・最多1時間雨量:33mm(8月17日 20:00)

■渚滑川

かみたつし
上立牛(開発局)【紋別市】

- ・累計雨量:99mm(8月16日 1:00~8月17日 21:00)
- ・最多1時間雨量:19mm(8月17日 20:00)

※本資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

河川水位の状況

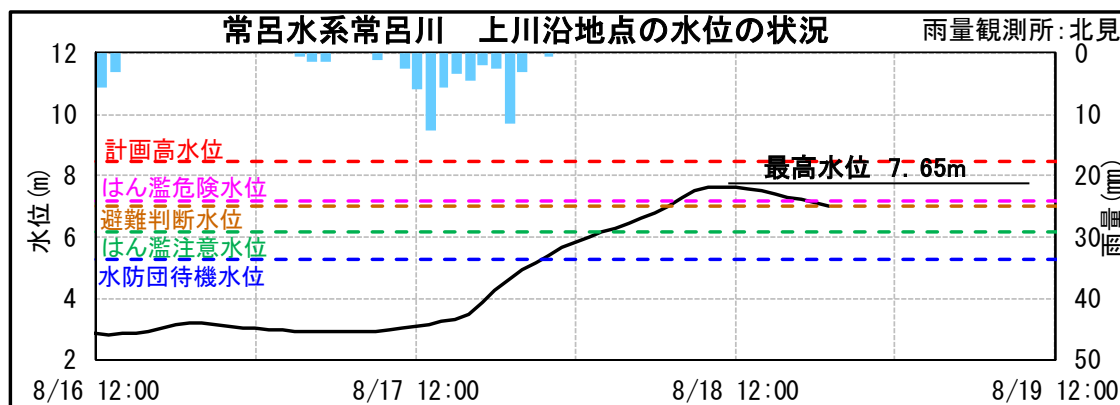
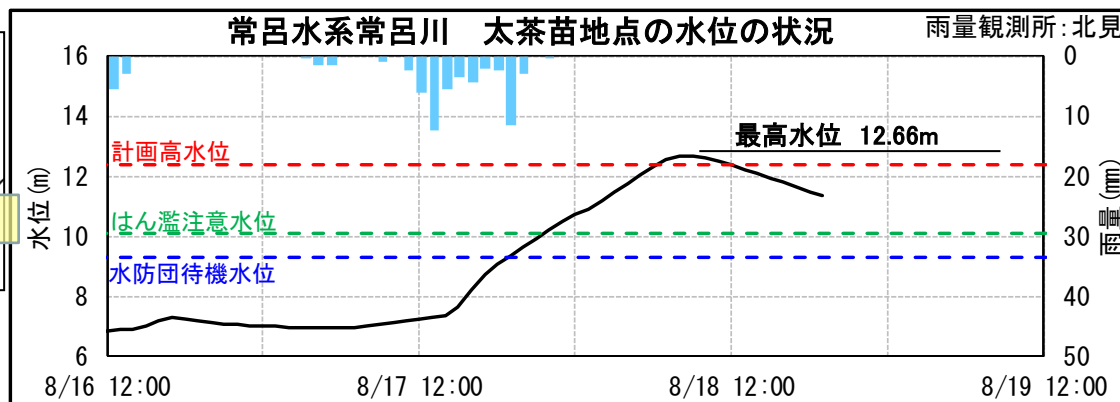
平成28年8月19日現在(速報値)

■ 今回の出水では、^{ふとちやなえ}太茶苗水位観測所(常呂川)において、計画高水位を超過。上川沿水位観測所(常呂川)において、はん濫危険水位を超過したほか、網走川・常呂川・湧別川・渚滑川の水位観測所において、はん濫注意水位を超過しました。

(位置図)



日吉地区(KP25付近)河道状況



○計画高水位を超過: 1河川1観測所

・常呂川: ^{ふとちやなえ}太茶苗

○はん濫危険水位を超過: 1河川1観測所

・常呂川: ^{かみかわぞい}上川沿

○はん濫注意水位を超過: 6河川14観測所

・網走川: ^{つべつ}津別、^{びほろ}美幌、^{ほんごう}本郷、^{かわじりぎじょう}川尻漁場

・網走川水系美幌川: ^{びほろばし}美幌橋

・常呂川: ^{ちゅうし}忠志、^{かこう}河口

・常呂川水系無加川: ^{ほっこうしゃ}北光社

・湧別川: ^{えんがる}遠軽、^{かいせい}開盛、^{なかゆうべつ}中湧別

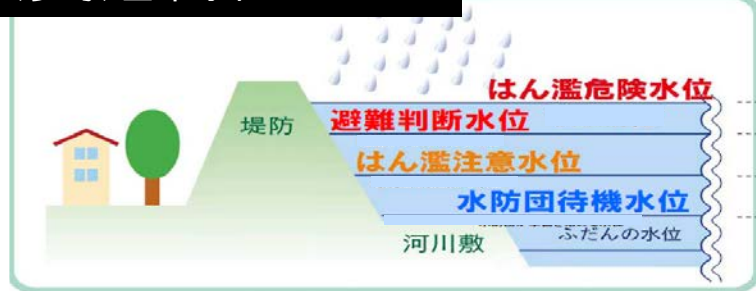
・渚滑川: ^{かみしよこつ}上渚滑、^{うつつばし}ウツツ橋、^{しよこつばし}渚滑橋

○水防団待機水位を超過: 2河川3観測所

・網走川: ^{おおまがり}大曲

・常呂川: ^{おけと}置戸、^{かみところ}上常呂

(参考) 基準水位について



危険度レベル



○はん濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れのある水位

○避難判断水位

避難準備情報の発令の目安となる水位

○はん濫注意水位

水防機関が出勤して水防活動を行う目安となる水位

○水防団待機水位

水防団が水防活動するため待機する水位

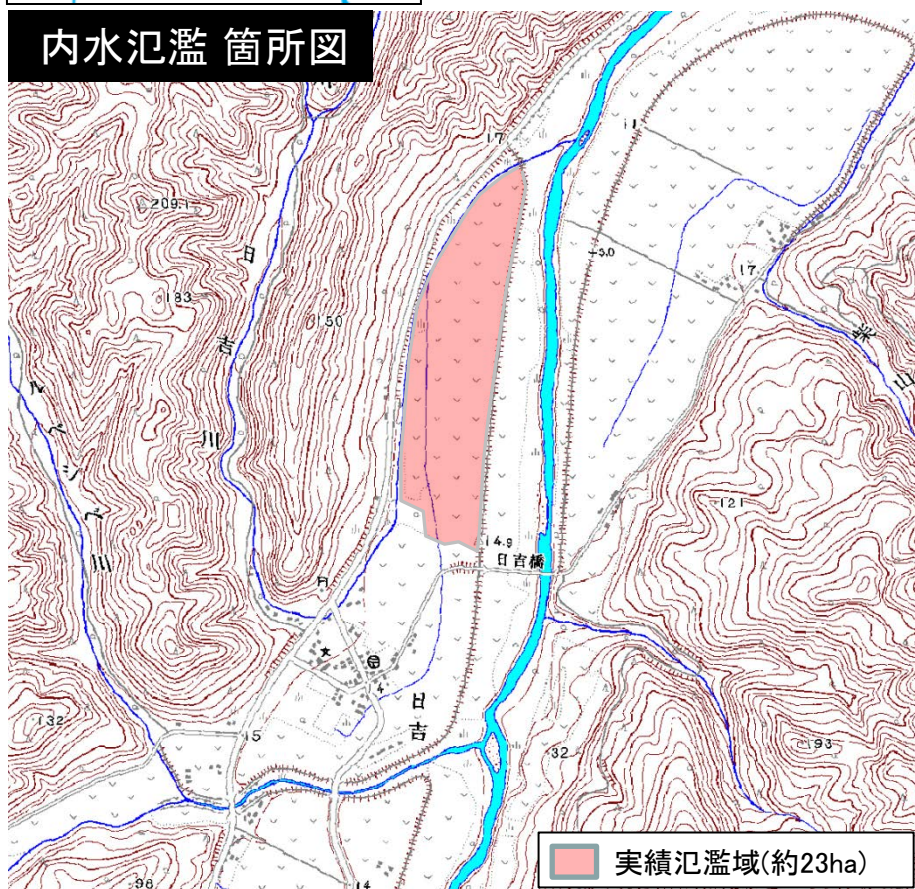
※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

被害の状況(常呂川水系 常呂川)

■ 常呂川水系常呂川(日吉地区)では、外水位の上昇に伴い内水氾濫が発生し、約23haの畑地等が浸水した。



内水氾濫箇所図



内水氾濫状況(北見市 日吉地区)



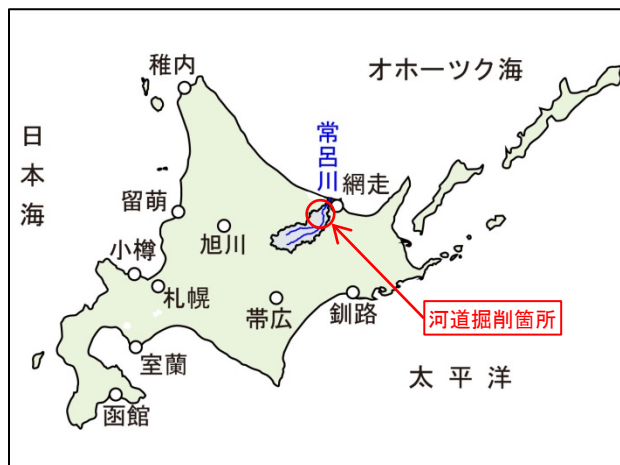
内水氾濫状況(北見市 日吉地区)



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

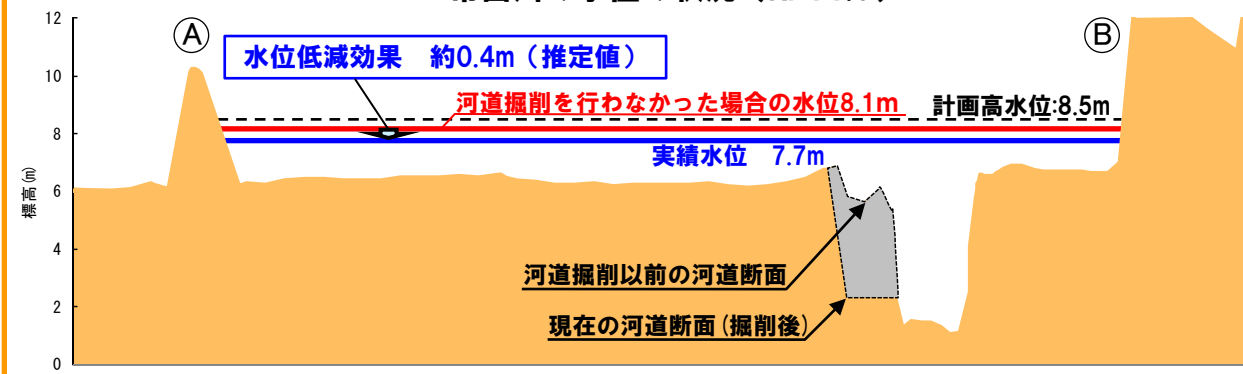
治水事業の効果(常呂川水系 常呂川)

- 常呂川では、平成13年9月、平成18年8月の洪水災害を受け、洪水を流す河道断面を拡大する河道掘削を実施し、掘削前と比べ約40cmの水位低下を図りました。
- 今回の出水では、はん濫危険水位を超過したものの破堤には至りませんでした。仮に掘削を行わなかった場合は、水位がさらに上昇し、堤防が決壊した場合には、約2,000haの浸水被害が生じた可能性があります。

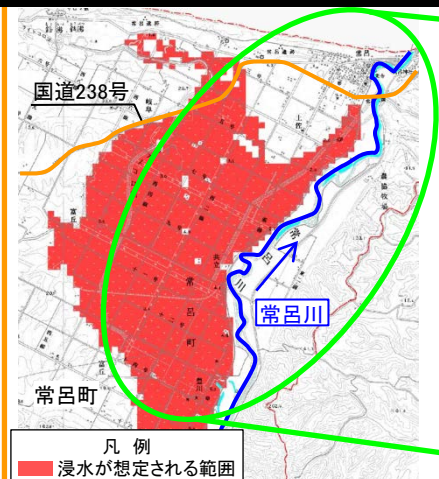


掘削による水位低減効果

常呂川の水位の状況 (KP11.0)



河道掘削を行わず堤防が決壊した場合に想定される被害

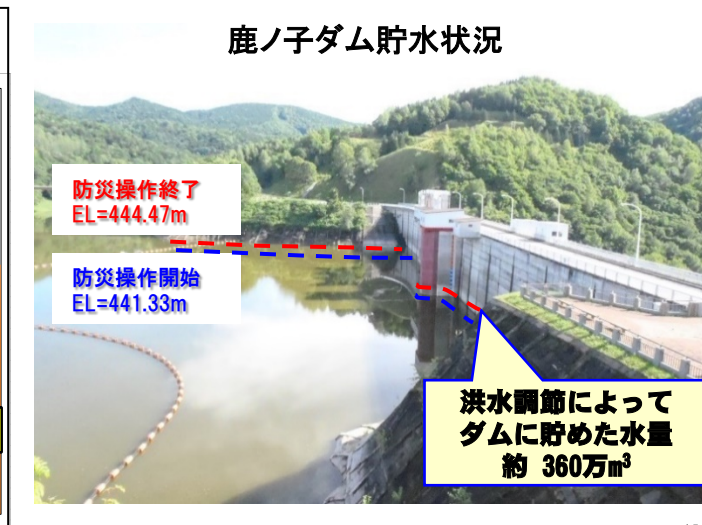
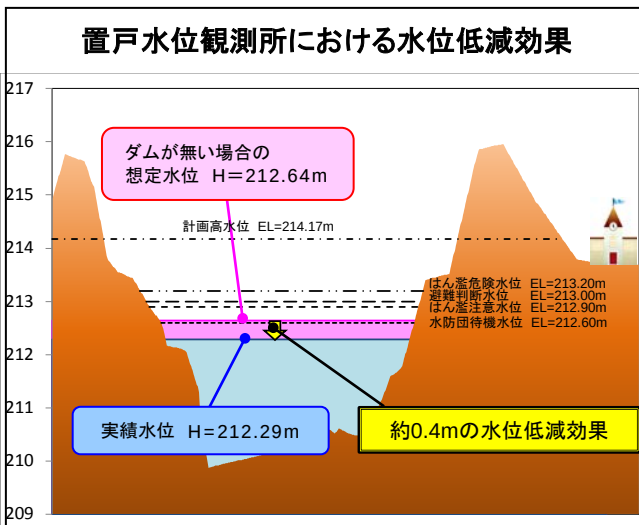
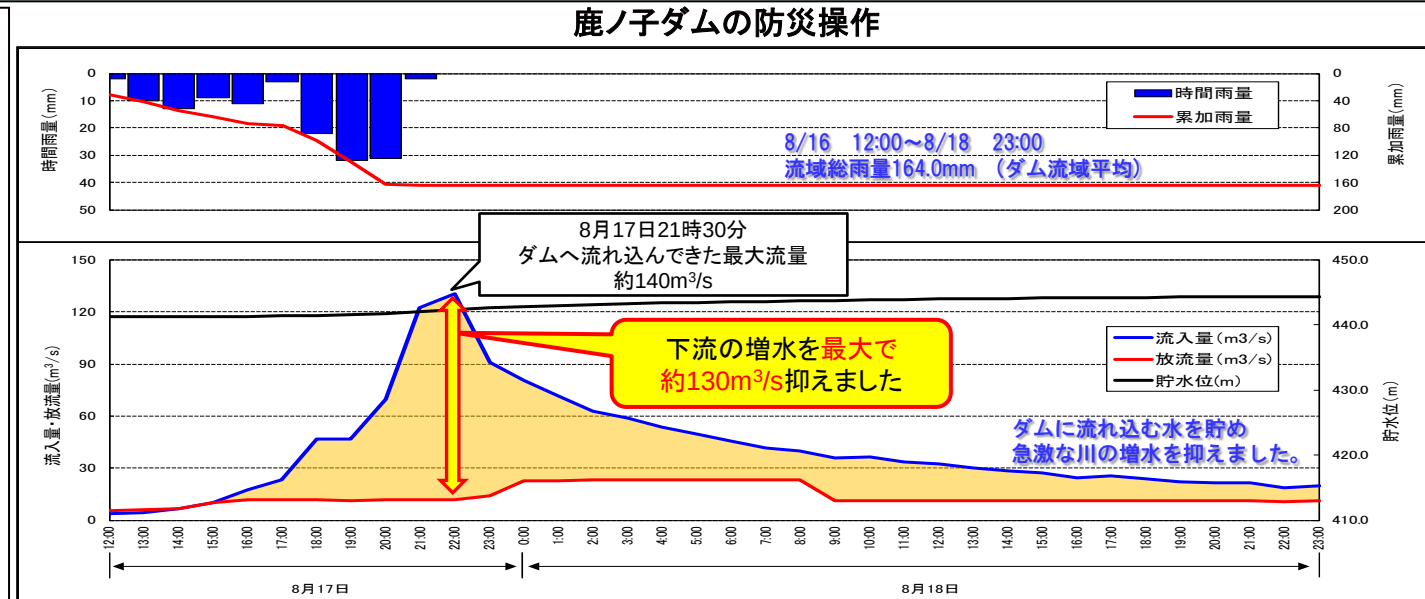


氾濫面積	浸水家屋
約2,000ha	約550戸

河道掘削を行わず
堤防が決壊した場合の想定被害

ダム整備が効果を発揮(北海道 鹿ノ子ダム) (国管理)

- 平成28年8月台風第7号に伴う降雨により、鹿ノ子ダムにおいては、**既往最大の流入量を観測。**
- 鹿ノ子ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の置戸町(置戸水位観測所)では、**水位を約0.4m低減させる効果があったものと推測されます。**



網走開発建設部の取組

- 網走開発建設部では、17日17時40分に注意体制に入り、昼夜を問わずパトロール等による河川情報の収集を行い、被害状況の早期発見に努めました。
- 北見市・オホーツク総合振興局に計8名の現地情報連絡員(リエゾン)を派遣するとともに、浸水排除等のため北見市、遠軽町、湧別町へ排水ポンプ車・照明車を派遣しました。



河川巡視による情報収集



24時間体制で河川情報を収集



リエゾンの派遣による情報収集及び情報提供



堤防調査員との現地確認



災害対策用ヘリコプターによる調査



排水ポンプ車による排水